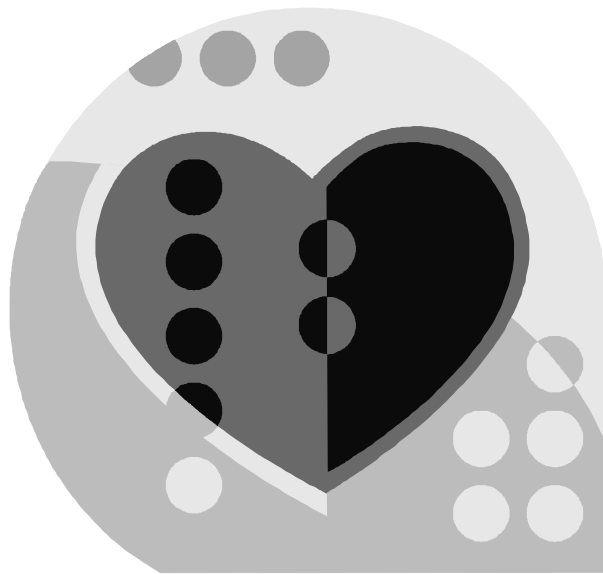


大正大学の卒業生が後輩に語り継ぐ実践ツール

大正大学方式『暮らしやすさ尺度』のご案内

～暮らしやすさ尺度質問シートと聞き取り票の使い方～



暮らしやすさ尺度質問シート開発：

大正大学大学院 人間学研究科 社会福祉学専攻 障害保健福祉研究班

聞き取り票作成：

昭和大学附属豊洲病院 医療福祉相談室ソーシャルワーカー 蔵方伸枝

大正大学の皆さんへ

みなさんは大正大学の大学院には実践分析という授業があるのをご存知でしょうか。これは、その授業の中で学生が共同研究をして開発した『暮らしやすさ尺度』のお勧めです。

2003年度の実践分析研究の後、学会報告も行われ『暮らしやすさ尺度』開発は一区切りが済みました。その後は実践家が日々の業務の中でどう使っていくかという段階となりました。

私は日ごろから、相談の時は、相談者の思いや考えを聞き取りながら、その人の社会的背景や病気の情報などと合わせて援助内容を検討していくという手順を踏んでいたため、この『暮らしやすさ尺度』質問シートはツールとして使えると感じていました。

それは相談者の思いや考えを聞き取るという作業の時にこれを使うと、生活全体を体系立てて聞き取りできるという点です。発想としては自分の相談の流れの中でこのツールを組み込むと、聞き取りもれが少なくなって相談の質が上がるのではないかということでした。

それから自分のパソコンに『暮らしやすさ尺度』質問シートを入れて持ち歩いているうちに、それなら質問の答えと、社会的背景や病気の情報を整理して、自分の考察も書き込めるような記入用紙を作れば便利だと思いつきました。いつもの仕事の手順を記入用紙という形にしてみたのです。しばらく使っているうちにこれを人に勧めたくなりました。これから卒業される人にとって『暮らしやすさ尺度』はきっとあなたの仕事を助けてくれるツールになると思います。

2006年1月

昭和大学附属豊洲病院 蔵方 伸枝

大正大学の卒業生からの贈り物。使って欲しい『暮らしやすさ尺度』

あなたは卒業してどんなところでお仕事をするのでしょうか？社会福祉の施設や病院などいかにも社会福祉の現場といったところでなくても、社会福祉のセンスやソーシャルワークの視点は求められています。その社会福祉のセンスって何？と思ったことはありませんか？『暮らしやすさ尺度』はそんな疑問に答えてくれます。ちょっと興味がわきませんか？

それではこれから、社会福祉の勉強をした人だからこういうものの見方をするんだ、ということをお大正大学の『暮らしやすさ尺度』を通して一緒に体験してみましょう。これは大正大学で学んだ人の社会福祉の視点です。どうしてって？ヒントは風土・文化の項目です。ここに大正大学らしさが出ているんですよ。ではお楽しみに！

(このご案内では、『暮らしやすさ尺度』質問シートと、聞き取り票と、『暮らしやすさ尺度』という言葉が出てきます。『暮らしやすさ尺度』質問シートは問1から問16まである質問用のシートのことです。聞き取り票は蔵方が作った聞き取り内容などを記入するための用紙のことです。その他で『暮らしやすさ尺度』という言葉が出てきたときはその両方と考えてください。)

♡ 『暮らしやすさ尺度』はだれが作ったの？

大正大学大学院の実践分析の授業の5年目(2000年度)から8年目(2003年度)の4年間をかけてつくられました。(これは院生の共同研究です。何十人もの先輩が頭を悩ませて苦労した授業だったのです。)

♡ 『暮らしやすさ尺度』って何？

『暮らしやすさ尺度』は、たった一人のその人だけの生活を支援するためのツールです。暮らしやすさの基準は人によって違いますね。ですから『暮らしやすさ尺度』質問シートは、一つの尺度で全ての人の暮らしやすさを測ろうとするものではありません。

これは、たった一人のその人だけの暮らしやすさを知るための尺度なのです。くどいですが、「あなたの暮らしやすさの尺度についてあなたから聞きましょう」ということです。そんな『暮らしやすさ尺度』は次のように使うことができます。

たとえば、病院のソーシャルワーカーが患者さんの退院について考える時、ケアマネジャーがケアプランを立てる基礎資料に、老人保健施設の相談員が利用者の退所後の生活を考える時、小学校の先生が児童と地域のつながりを考える時、個人的に自分の退職後の生活を考える時に使うなど、他にもいろいろな使い方ができます。

また個人の生活だけでなく、地域や集団のことを考える時にも使えます。たとえば、企業の社会貢献活動が参加者の生活にどう影響をしているのか知るために使うことや、行政職の人が、作った制度が地域の人の生活にどう使われているかを知ることにも使うことができます。

このように広い範囲で使えるのは『暮らしやすさ尺度』質問シートが暮らし全体にわたって見渡すことができるように質問項目が考えられているからです。

いろいろ使えるのですが、注意して欲しいのは『暮らしやすさ尺度』質問シートを見て、何かの項目が高い結果を出せばそれが暮らしやすいといった単純なアンケート用紙だと思わないで欲しいことです。たとえば、お金はありますかという質問にかなりあると答えているとしても、それを単純に暮らしやすいと読み取るわけではありません。月額7万円の年金生活でも、全くないと答える人と、かなりあると答える人がいるからです。『暮らしやすさ尺度』質問シートの答えは、その回答だけから意味を読み取ることはできないのです。それがどうしてかは後でお話しますね。

それでは次にどのように『暮らしやすさ尺度』質問シートの項目ができていくかご紹介しましょう。

♡ 『暮らしやすさ尺度』質問シートの質問項目の構成

というわけで『暮らしやすさ尺度』質問シートは暮らしに無くてはならない、それが無いと生活するのに困ってしまうという項目を全て入れてあります。それには岡村重夫先生の生活概念を使っています。岡村先生は生活には基本的で、そのどれかが欠けると生活に問題が出るし、また他の項

目では代わりにならないという7つの項目（ミニメモコーナー1参照）をあげています。

その岡村先生の生活概念をお借りして、質問項目は【身体的領域】【心理的領域】【社会的領域】【環境的領域】【風土・文化的領域】の5つが暮らしやすさの質問項目の領域になっているんです。では、その5つの領域から何が見えるのでしょうか、次にそのことについてご説明しますね。

ミニメモコーナー1

暮らしやすさ尺度は、岡村重夫の生活概念とWHO-QOLの質問項目を合わせて、ICFの概念を取り入れながら作成されている。

岡村の生活概念は 経済安定の要求 職業安定の要求 家族的安定の要求 教育保障の要求 保健・医療保障の要求 社会参加ないし社会的協同の機会の要求 文化・娯楽の機会の要求の7つであるが、これに風土・文化の項目を入れたことが大正大学のオリジナルになっている。

♡ 『暮らしやすさ尺度』で何が見えるの？

先ほどお話したことと重なりますが、『暮らしやすさ尺度』はその人の個性に目を向け、その人だけの暮らしの視点を知ろうとする作業なのです。その人の生活の世界を知り、その人の目線で共に生活について考えること、相手がどういう考え方をするのかを知ろうとしているのです。

それはまず、その人が語る「私にとっては・・・」を聞く作業です。それから聞き手のほうも「あなたにとって・・・」ですねと意識して聞くような聞き方が大切です。

また、その人の言葉を聞き取った時、自分の気持ちを相手の言葉に混ぜて相手の言葉としてはいけないのです。

つまり自分と相手を分けることが必要です。このことはソーシャルワーカーの基本の姿勢でもあります。

そうなんです！『暮らしやすさ尺度』はソーシャルワークと関係があるのです。

それから、この「聞き取り票」を一度既成のアセスメントシートと比べてみてください。たとえば介護保険で使っているアセスメントシートやアメリカのものではPIEシステムというシートもあります。この「聞き取り票」は生活問題のアセスメントシートだと考えてみてくださいとわかりやすいかもしれませんね。

♡ 『暮らしやすさ尺度』質問シートと聞き取り票はセットで使おう

1、『暮らしやすさ尺度』質問シートと「聞き取り票」について

『暮らしやすさ尺度』質問シートの答えは、その回答だけから意味を読み取ることはできないということを前にお話しましたが、質問シートの聞き取り内容は「聞き取り票」に整理すると大変わかりやすくなります。そのわけをこれからお話しますね。

2、「聞き取り票」の構成

「聞き取り票」は3つの部分に分かれています。

中央が聞き取り内容の記入欄です。左側には7つの生活概念に対応したそれぞれの社会制度を記入する項目になっています。一番右には考察を記入します。

ポイントとしては！！個人と社会制度（岡村先生による社会制度のことです。ミニメモコーナー2参照）の関係をすることでその人の暮らしを知ろうとしているということです。

個人と社会制度の関係を知るわけですから、聞き取った内容のほかに、その人の社会制度にあたる部分の情報が必要になります。「聞き取り票」の左側の記入項目です。（ミニメモコーナー3参照）

『暮らしやすさ尺度』は本人の主観と社会制度の部分の関連を考える作業なのです。相談を受けた人が自分の『暮らしやすさ尺度』で相手を判断しないということですね。ソーシャルワークとつながっていることがお分かりいただけたでしょうか？

それでは次に『暮らしやすさ尺度』質問シートと「聞き取り票」の使い方をお話しますね。

ミニメモコーナー 2

岡村理論の社会制度「このように社会生活の基本的要求を充足させるためには、個人はそれぞれにふさわしい社会制度を利用しなくてはならない。例えば「職業的安定」の要求を充足するためには、職業をもつか、もし職業を失ったばあいは職業安定制度や失業保険制度を利用しなければならない。」「ところで以下、社会生活の基本的要求に対応する制度の代表的な例を示せば、次のとおりである。

- a . 経済的安定、 \leftarrow 産業・経済、社会保障制度
- b . 職業的安定 \leftarrow 職業安定制度、失業保険
- c . 医療の機会 \leftarrow 医療・保健・衛生制度
- d . 家族的安定 \leftarrow 家庭、住宅制度
- e . 教育の機会 \leftarrow 学校教育、社会教育
- f . 社会的協同 \leftarrow 司法、道徳、地域社会
- g . 文化・娯楽の機会 \leftarrow 文化・娯楽制度」岡村重夫『社会福祉原論』全国社会福祉協議会 1983.1 p.85

ミニメモコーナー 3

岡村理論の社会関係

「社会生活を形成する要素は (a) 社会生活の基本的要求の主体者たる個人、(b) 各々の基本的欲求に対応する社会制度、(c) この両者を結びつける社会関係の三者である。」
「いやしくも生活の実態を明らかにしようと思えば、個人と社会制度との関係そのものに迫らねばならない。」岡村重夫『社会福祉原論』全国社会福祉協議会 1983.1 p.83

個人的側面・主体的側面

「相互に無関係な多数の社会関係を、ひとりの生活主体者としてこれらを統合し、調和させながら、それぞれの社会関係の維持に必要な役割を、自分の生活行為として実行してゆく側面」前掲書 p.89

♡ 『暮らしやすさ尺度』は日本人のソーシャルワークに合っている

『暮らしやすさ尺度』は岡村先生の理論をお借りしているので、日本人の「私とあなた」の関係にとってもなじみやすいところがあります。

それはたとえば次のようなことです。高齢者の方とお話していると自分のして欲しいことをストレートにおっしゃる人と、なかなか自分の気持ちを言葉にして伝えてくださらない人がいらっしゃいます。それは、こうして欲しいという希望や要求が無いのではなく、「自分のして欲しいことを自分が言わなくても察して行動して欲しい」と言うことがあるようです。

しかたがないので、そのような人については、こちらからその人の目線で考えて、ご本人にこうでしょうかとお聞きしていくようになります。

現実の実践場面では、次のように暗黙の了解があると思います。ソーシャルワーカーが相談を受ける時は「私のして欲しいことをわかってください」に対して「私はあなたの目線でものを見ますよ」という約束をして相談を始めているのです。だからその人の生活の世界を知る作業が必要になるのですね。

このような相談者とのやり取りはとても日本人らしいと思います。相談を受ける側が、あえて『暮

らしやすさ尺度』を使って、本人の生活について聞き取りして、その人の暮らしの視点を知るための作業をすることは、東洋的で日本人のソーシャルワークらしい作業のように思うのです。

♡ 『暮らしやすさ尺度』は自立と選択をお手伝いします

前の話から話が横にそれますが、福祉サービスが契約の時代になった現在だからこそ、本人の主体性を確認するために『暮らしやすさ尺度』を使って欲しいと思います。

それは、『暮らしやすさ尺度』が、その人の個性に目を向け、その人だけの暮らしの視点を知ろうとする作業であり、その人の目線で共に生活について考えるための道具だからです。

言い換えると、『暮らしやすさ尺度』の作業は、本人が自己決定をよりよく出来るようにお手伝いをするのですし、その人らしいサービスの選択はその人らしい生活につながります。たとえば、家に閉じこもらずに外出することや、地域の行事に参加することは、自立した生活の実現を応援することになると思うのです。あなたは、働いて収入があることだけを自立だと思いませんか？（ミニメモコーナー4参照）

ミニメモコーナー4

岡村理論の主体性の原理

「各種の生活関連施策の提供するサービスを、ただ受動的に受け取る権利が保障されていても、それだけのことで社会福祉に固有の視点は実現されたことにはならない。むしろこれらの生活関連施策のサービスがサービス利用者の自己決定によって選択されることや、サービスの運営や基本方針の決定に対して生活主体者の参加が保障されなければ、社会関係の主体的側面の意味は、真実に貫徹されたということは出来ない。」「つまり個人は自分の生活上の困難について責任を回避するのではなくて、むしろあらゆる機会や制度を利用したり、選択して解決にあたるという自主的な態度をもたねばならない。」岡村重夫『社会福祉原論』全国社会福祉協議会 1983.1 p.100

♡ 「聞き取り票」の使い方

1、使う目的を確認する

『暮らしやすさ尺度』はよく切れる包丁のようなものです。どんなにいい道具があってもそれを使うのはあなたなのです。作る料理を決めずに、包丁だけ眺めていても料理はできあがりません。また、何を知るために使うのかがはっきりしていると結論もはっきり見えてきます。

それではこれから、医療ソーシャルワーカーが80才の単身女性、大正花子さんの退院後の生活を考えるために使うことにして、私といっしょに実際に「聞き取り票」を使ってみましょう。

ということは、目的は大正花子さんの退院援助の検討ですね。

それから、大正花子さんは明治病院に入院して3ヶ月、脳梗塞で歩行障害がある一人暮らしの女性で、西巣鴨に住んで50年経ちます。夫は10年前に亡くなり二人の娘は結婚して埼玉県と千葉県に住んでいることにしましょう。病院ではソーシャルワーカーの昭和信子さんに退院準備をするよう相談依頼がありました。昭和ワーカーは本人と会って10日位経っていると設定します。

ではスタートしましょう！

2、大正大学方式『暮らしやすさ尺度』質問シートを使って聞き取りをする。

1) まず『暮らしやすさ尺度』質問シートの各質問の意図を頭に入れておきましょう。

表1の暮らしやすさ尺度の手引きの欄に概要を書きました。（詳しくは障害保健福祉研究班 地域における障害者の生活支援 ～「暮らしやすさ尺度」の研究3～大正大学大学院人間学研究所社会福祉学専攻 2004.3『社会福祉実践分析研究報告書』を参照してください。）

2) 大正花子さんから聞き取りをします。

ただ聞きたいことを一方的に聞くのではなく、大正さんの状況にも配慮しましょう。点滴を受けている最中とか疲れているようなときには、本人にお話できるか相談してください。いっぺんに全部聞けないかも知れないときは分けて聞いてもいいでしょう。人の生活について教えていただくの

ですから気を使うのは当たり前ですね。一生懸命聞こうとするこちらの態度は相手もちゃんと見ていますよ。

3、「聞き取り票」に記入する。

1)「聞き取り票」の構成

「聞き取り票」は、記入欄が3つに分かれています。客観的内容の記入欄と聞き取り内容の記入欄と考察の欄です。

2) 記入方法

まず中央に聞き取った内容を記入します。質問項目の番号のところに回答を記入して、その下の行には本人の自由記載にあたる部分を記入します。この自由記載の部分も重要ですのでしっかり記入しましょう。

一番左の「客観的内容」の欄は『暮らしやすさ尺度』質問シートの項目の部分に対応するようになっています。

ここは本人から聞いた内容とは限りません。すでに自分の持っている知識や情報が入ってきます。ですから自分の職場がある地域の民生委員さんやケアマネジャーさんなどの関係者とお付き合いをされていて情報があることや、福祉関係制度の知識があることが前提です。また地域を理解するための社会学や、子どもの問題に関わるときは発達心理学などといった、広い学際的知識もこの欄の記入には必要です。

言い換えるとこの欄は社会関係の制度的側面にあたる内容が入ってくることになります。聞き取りの内容と「客観的内容」欄の記入が終わったら、右端の考察欄を書き込むようになっています。

最後まで記入した用紙は、名前を見なくても内容だけで、誰なのか特定できるような記載になっていることが大切ですね。だって「たった一人のその人だけの生活」を知るために作業したのですから。

では次に考察欄についてご説明しましょう。

4、考察欄の記入

それではいよいよ、ソーシャルワーカーの考察欄を記入しましょう。

考察の深さは、本人からの聞き取り内容だけでなく、「客観的内容」欄の記入内容にも左右されます。先ほどお話したように、どれだけ制度を理解しているか、地域の情報を持っているか、などで「客観的内容」の部分の記入内容が変わってきます。そのことが聞き取り内容をどう見るかに影響して考察が変わってくるのです。

たとえば大正さんの場合、表3（記入例）の身体的領域の「客観的内容」欄に「脳梗塞左麻痺や杖歩行」といった情報がなかったら、本人が問2で「少しだけ出来ている」と答えている意味を理解することが難しくなるかもしれません。その時は考察の書き方もかわりますね。

また記入内容を見ると、昭和ワーカーは本人と会って10日位ですから、食事の摂取量などの情報は足りないようです。ということは、昭和ワーカーはまだまだ情報収集をしなくてはならないだろうということがわかります。

このように「大正花子さんの退院援助の検討」のために記入しているという目的がはっきりしていると、自分が知らないことがあることや、どういう情報が必要なのかもわかってきます。道具は何のために使うのか、わかって使うことが大事ですね！

5、記入した表の全体を見わたす

さあ！書き込んだ表の全体を見わたしてみしましょう。ここが一番『暮らしやすさ尺度』の醍醐味を味わえるところです。

どうですか？どのくらい大正花子さんの生活のイメージができたでしょうか。大正さんは架空の人物ですけど、こんな人かな、と言う姿が見えてきませんか。

最初の目的だった、大正さんの退院について、たとえば、昭和ワーカーが介護保険の説明をして、ケアマネジャーにヘルパー派遣してもらえば、それで援助が終わりというわけではありません。この作業から昭和ワーカーが何をしなくてはならないかが見えてきたと思います。

昭和ワーカーが見ている大正さんと、明治病院の医師が見ている大正さんは違って見えているかもしれませんね？

そうなんです、これが社会福祉を学んだ人が、人の生活を見るとき視点なんです。

さて、あともう一つだけお話ししたいことがあります。

♡ 『暮らしやすさ尺度』で見えるのはその人の全てではありません

『暮らしやすさ尺度』を記入してみるとその人の全てを理解したように感じる場合があります。けれどもそれは切り取られた「生活の全体」であって、その人自身の全体ではないのです。『暮らしやすさ尺度』でみようとしているのは生活の部分なのです。ですからその人の精神世界、たとえば宗教や信仰の深い部分や、心理の深層の部分までは対象としていません。そのような部分に関わるとしたら、宗教者、心理療法士、精神科医、カウンセラーなどの職種が適切でしょう。

つまり抽象的なものではなく、現実の生活に生じる問題に関わるために『暮らしやすさ尺度』はできているのです。（ミニメモコーナー5参照）

考えてみると、一人の人の、生活ばかりでなく精神世界まで、全てを完全に見てしまおうとするわけではありません。間違えないようにしたいのは、私たちが知ろうとしているのは生活の世界だということです。

わたしたちは失敗もするし欠点もある一人の人であって、相談者と同じ人なのです。ですから、いつも、いつも、私には見えていないその人がどこかにあるということを、忘れないようにしなければならぬと思うのです。

ミニメモコーナー5

「約言すれば生活とは社会関係といってもよい。その意味では、社会福祉の問題とする生活上の困難とは、社会生活上の困難である。純然たる個人の内面的な問題としての宗教的信仰や思想上の問題は、社会福祉とは無関係である。そして社会生活上の困難とは、社会関係の困難である。」岡村重夫・高田真治・船曳宏保『社会福祉大系3 社会福祉の方法』勁草書房 1979.4 p.29

さあこれで最後です。お付き合いいただきありがとうございました。

いかがでしたでしょうか？ どうぞ一度『暮らしやすさ尺度』を使ってみてください。あなたのオリジナルに記入用紙を工夫して使うことも出来ます。

『暮らしやすさ尺度』に関するご質問・ご感想は下にあるメールでお送りください。また、暮らしやすさ尺度「聞き取り票」のデジタルデータをご希望の方は下のメールにご連絡ください。

n-kishi@muh.biglobe.ne.jp

昭和大学附属豊洲病院 医療福祉相談室ソーシャルワーカー 蔵方伸枝

暮らしやすさ尺度 聞き取り票手引き

相談者氏名： _____ 様 _____ 年齢 _____ 才 男 女

作成日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

客観的内容	聞き取り内容	考 察
【暮らし全体】問 1		
客観的な生活全体の状態	生活全体をどう感じているか	
. 【身体的領域】問 2		
健康状態・病気治療の有無 障害の有無 ADL・IADL	障害の有無に関わらず、その人の日常生活に必要な行為が健康で満足におこなわれているか	
. 【心理的領域】問 3・問 4		
心理的な安定または不安 物事の判断や処理能力 身だしなみや衣類の状態 顔の表情や態度	その人が今の暮らしに対して満足・幸福・希望・喜び・楽しみといった肯定的な感情をどれだけ抱いているか 解決の方法を問わず、落胆・悲しみ・絶望・失敗・不安といった否定的な感情を解決できるか	
. 【社会的領域】問 5・問 6・問 9		
家族構成 家族のかかわり・知人友人関係 学習・仕事・外出・旅行 社会活動への参加	周囲の人の愛情・友情・援助などをどのように感じているか 必要なときに身体的な介助ばかりでなく、精神的支えを得られているか 遊びに行く、学ぶ、働くなど社会活動の機会が得られているか	
. 【環境的領域】問 7・問 8・問 12・問 13・問 14		
生活・福祉・医療サービスの制度利用の有無 経済状態と制度利用 自治体制度の整備 住環境と地域の環境(公害・騒音) バリアフリー 情報アクセス 趣味やレジャーの環境 地域の防災・安全	必要な情報を得る機会(頻度・方法)があるか 医療や福祉などで生活に必要なサービスを満足に得られているか 生活する上で必要な経済力を得られているか。生活する上で必要な趣味・レジャー活動が得られているか 自宅とその周辺の住環境が快適か	
. 【風土・文化領域】問 10・問 11		
地域の自然・風土・文化の特徴 地域の町会・自治会活動 地域自主活動グループの活動状況	生活圏の風土や文化・自然などをふくめた土地柄への愛着があるか PTA や子ども会・町内会のお祭りや運動会、清掃活動などの地域活動に参加しているか	

聞き取り票（大正花子さんの記入例）

相談者氏名： 大正花子 様 年齢 80 才 男 女

作成日： 2006 年 1 月 16 日

客観的内容	聞き取り内容	考 察
【暮らし全体】問1 2暮らしにくい		
	今の暮らしは2暮らしにくい 病院で生活しているほうが楽だと思 うが帰りたい	本人は退院後、自宅で生活 したいが不安があるので援助 が必要
. 【身体的領域】問2 2少しだけできている		
脳梗塞で左麻痺、失語症なし リハビリで杖歩行の訓練中 病棟では見守りでトイレ移動 高血圧で内服薬服用、 脳梗塞発症後3ヶ月 身長150cm体重40kg	病院では看護師さんもいて困って いない。退院するのは心配一人で生活 する自信が無いのでずっと入院して いたほうが安心	病院から退院できるように 準備するよう話がしたが、 本人は杖歩行訓練中ADL の情報収集をして検討する ことにする
. 【心理的領域】問3 2少しだけ感じている 問4 4かなりできている		
自分はまだ人の役にたちたい と話すときの表情は硬く、にこ やかな表情はみられない 最近食欲が落ちている	若いころは町会の役員をして他の人 のお世話もしてきたが今は自分が人 の世話になるようになった。でもま だ人の話を聞いてあげることはでき るから役にたちたい	人の役にたちたいという気 持ちがありそのことが喜び になっていたことが想像で きるこの気持ちを考慮する とヘルパー利用は慎重にす ずめる必要がある
. 【社会的領域】問5 3どちらでもない 問6 2少しだけ得られる 問9 3多少ある		
夫死亡後10年間一人暮らし 長女埼玉、次女千葉在住 入院中娘たちは週末に必ず面 会に来ていた	娘たちは遠くに住んでいるし家族も いる、心配して電話をかけてきてく れるが二人とも仕事をしているので頼 ることはしたくない 近所の人には親切だが迷惑になると思 うと頼みにくいそれにみんな年寄り が多いので気を使う	本人は娘に遠慮しているが 娘の考えはわからないので 週末に来院したとき話がで きるよう連絡を取る 本人が孤立しないような 人間関係について検討する
. 【環境的領域】問7 2少しだけ 問8 3どちらでもない 問12 2少しだけ 問13 1全くない 問14 3ふつ		
自宅は木造2階建て入り口に 3段の階段あり、西巢鴨駅まで 徒歩15分商店街まで徒歩10分 介護保険未申請 夫の遺族年金が2ヶ月で18万 国民健康保険・老人保険 杖歩行のため災害時には援助 が必要	難しいことはあまりわからない、近所 の人に教えてもらうくらい、何を何処 に相談に行ったらいいかわからない お金は何とかやっていける程度、病院 の支払いが困る、趣味といっても何も ない自宅は古いが自分の家にこれか ら暮らしたい、だが出来るかわから ない	住宅改修の必要があるかを 本人と相談する 介護保険の制度についてわ かりやすく説明する
. 【風土・文化領域】問10 5非常にある 問11 2少しだけ参加している		
西巢鴨居住歴50年 町会の役員をしたこともある	巢鴨の庚申塚商店街では毎日買い物 をしていた 商店街の人たちとは顔 なじみ 大正さるんに寄って話をし て帰るのが楽しみだった	大正さるんが外出や楽しみ つくりのきっかけになる可 能性を検討する